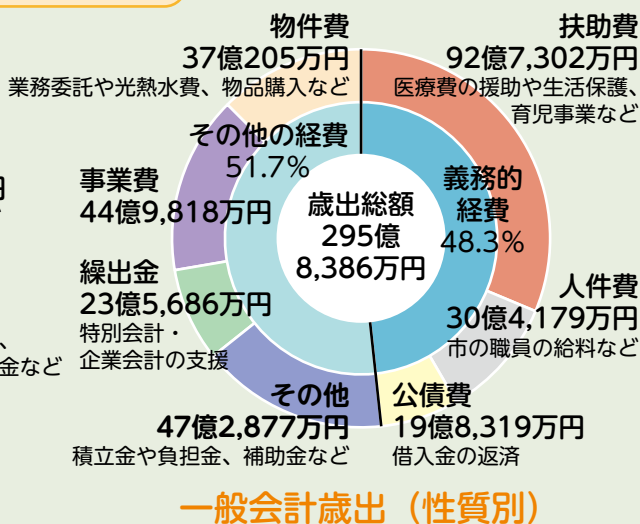
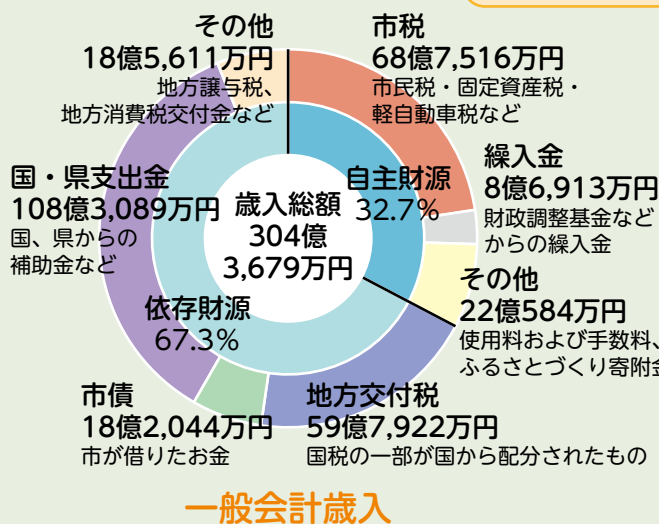




令和3年度 決算 をチェック

令和3年度の決算は、9月12日・14日・15日の3日間、決算審査特別委員会で審査し、21日の本会議で全ての決算を認定しました。全会計の総額は歳入合計469億289万円、歳出合計462億6,420万円です。

令和3年度一般会計



一般会計は歳入304億3,679万円、歳出295億8,386万円です。前年度よりも、歳入は18億1,032万円(5.6%)減、歳出は前年度より19億3,674万円(6.1%)減となり、歳入・歳出ともに減少しました。

福間中学校整備改修事業

23億6,230万円

校舎の老朽化と生徒数の増加に対応し、新校舎の建設工事を行った。令和6年度には教室不足になる見込みであり、対応が急務である。



コミュニティバス運行委託事業

5,251万円

新たな路線で運行を開始し、キャッシュレス決済を導入。コロナ禍と路線変更で利用者は約5万3千人(前年度より約1万3千人減)となった。



監査委員の意見

令和3年度は、近年の人口増加による税収増やふるさと納税の増加などにより自主財源を増やしつつあるものの、それを上回る義務的経費、特に扶助費の増加に拍車がかかった結果となり、決して楽観できる状態ではない。

加えて、児童・生徒数の増加による学校建設問題や、公共施設の老朽化による更新コストの増大、終息が見えない新型コロナウイルス感染症の影響等、現時点の決算においては表面化していない今後の市政運営におけるリスクは非常に大きく、今後も慎重な取り組みが求められることは言うまでもない。

先行きの見えにくい困難な状況ではあるが、不断の努力と知恵を結集しながら、この難局を乗り越えていただくことを期待する。

(監査委員意見書抜粋)

新型コロナウイルス感染症対策の主な事業をチェック

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策関連主要事業として、対策に係る決算額は27億9,788万円でした。そのうち、国・県支出金27億3,740万円（うち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金4億5,017万円）を活用し、自主財源（一般財源）は6,048万円でした。

「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」（令和2年4月7日閣議決定）に掲げられた4つの柱の区分を基にコロナ対策として市独自で取り組んだ事業について紹介します。

① 感染拡大の防止

- ・ 新型コロナウイルス対策事業 533万円
- ・ 市民活動団体支援補助事業 124万円
- ・ 確定申告新型コロナ対策 26万円
- ・ 公設分別ステーション運営事業 47万円



中央公民館に設置された臨時分別ステーション

② 雇用の維持と事業の継続

- ・ 福津エール飯応援事業 870万円
- ・ 中小企業者支援事業 106万円
- ・ 移動販売支援事業 18万円
- ・ 水産振興補助事業 1,075万円



津屋崎千軒かきの特売会

③ 経済活動の回復

- ・ キャッシュレス消費喚起事業 2,627万円
- ・ 地域資源活用促進事業 989万円
- ・ 商工会補助事業 219万円
- ・ 新たな魅力開発発信事業 550万円



官民連携で開発した福津土産 チーズサンド福津ハニー

④ 強靱な経済構造の構築

- ・ 小学校ICT学習環境整備事業 2,257万円
- ・ 中学校ICT学習環境整備事業 2,532万円
- ・ 施設予約システム更新事業 489万円
- ・ 電子図書館導入事業 3,045万円



令和4年2月にオープンした電子図書館

国の政策で取り組んだ主要事業

- ・ 子育て世帯臨時特別給付金支給事業 12億7,630万円
- ・ 住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業（事業費） 5億250万円
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業 3億9,203万円

